

## 県内景況情報

1月期

## 製造業

## 〈食料品〉

## 〔パン製造業〕

イーストの仕入れが前年比で11%増加した。

## 〔生菓子製造業〕

1月後半の寒さや雪の影響で売上が減少した。

## 〈木材・木製品〉

## 〔木材製造業〕

中国株式市場の暴落により、一気に輸出向け商材の低迷が始まっている。在庫過多の状態。為替も不安定であり、輸入の減少もある。内需は低迷している。先行きが読めず厳しい見方をするしかない。国産材は安定しているようであり取り組みやすい。

## 〔木材製造業〕

円安の影響で輸入品を取り扱っている企業は経営が厳しい状況。

## 〈鉄鋼・金属〉

## 〔鋳物・鋳鉄業〕

前年同月と比較すれば、数字的には変わらないが、昨年は売り上げの増加が見込めそうな見通しを持った企業が多かった。しかし、今期は、今後の受注見込みが、不確実、横ばいが多く、過去なかった減少見込みの予測も数社あり、経営環境は厳しくなりそう。

## 〈一般機械〉

## 〔一般機械器具製造業〕

昨年末から新年にかけて端境期となったのか受注が減少、1月下旬から回復傾向となっている。電気使用量は、前年同月比92.9%（前々年同月比88.0%）

## 〈電気機器〉

## 〔電気機械器具製造業〕

・1月度売り上げは12月度とほぼ同等だが、前年同月よりは増加した。

・産業用ロボット関連が若干減少したが、システム関連の拡大で全体としては前月並みとなった。今後の産業用ロボット関連の盛り返しを期待している。

## 〔電気機械器具製造業〕

1月より生産が少し下がってきている企業が出てきたが、日産系は2、3月は大幅な増産となる見込み。トヨタ系は下がるとのことで、企業により業績の差が大きくなる。

## 非製造業

## 〈卸売業〉

## 〔靴・履物卸売業〕

12月まで動きが悪かった季節商品が、1月に入ってから動きが良くなったとの情報も聞かれるようになった。

## 〔電設資材卸売業〕

暖冬により、空調設備の買い替えが進まない。

## 〈小売業〉

## 〔食肉小売業〕

牛肉は相変わらず高値が続いているものの、豚肉が値下がりし粗利が上向いた。寒さが厳しくなったのも後押しし、鍋物商材が大きく拡販でき、売り上げの上昇に貢献した。

## 〔医薬品小売業〕

都市部の薬店ほど競争が激しく、他店との差別化・特色を図らなければ生き残れない。

## 〈商店街〉

## 〔北九州市〕

昨年も1月は売り上げが悪かったが、今年はさらに大雪や厳しい寒さが続き、お客様の来店が無い日があった。こればかりは、どうしようもなく手立てがない状況だ。

## 〈サービス業〉

## 〔クリーニング業〕

業界は全国的に未だ厳しい時代が続いている。今後、協業化を考えることも一つの手段だと思う。

## 〔警備業〕

受注単価はやや上昇しているが、人員の減少により全体的には売り上げ増加になってない。

## 〈建設業〉

## 〔職別工事業〕

鉄構関係の工場は、全般的には稼働率は堅調に推移している。ただし、元請の図面チェックの遅れなどで工場加工の工程に支障が出ている。

## 〔総合工事〕

3月工期に間に合わせる集中工事、加えて、今年に入り雪の被害による水道管等の取り替え工事等により、人員と資材の不足が起きている。

## 〈運送業〉

## 〔道路貨物運送業〕

燃料価格の安価が継続し、収益が好転した。ドライバーの高齢化と若手人材の不足が課題となっている。

# 福岡県の業種別D・I値の変化

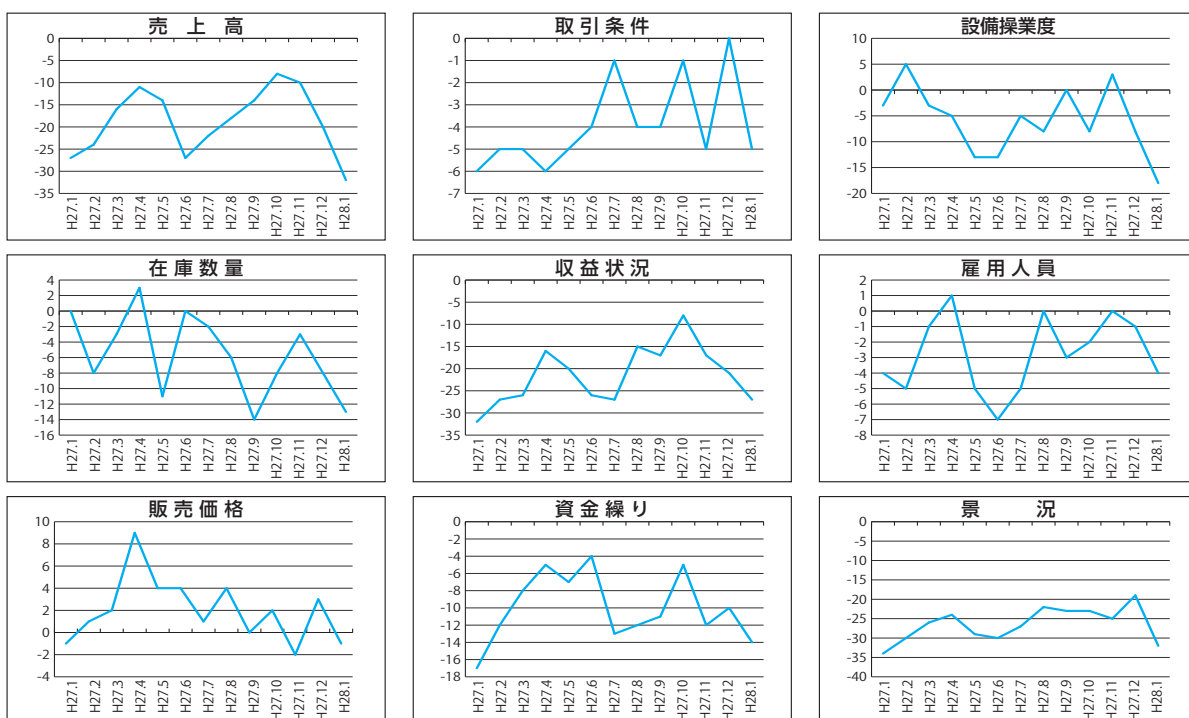
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	→	→	→	→	→	→	→	→	↓
	繊維・同製品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	木材・木製品	↓	↓	→	→	↓	→	↓	→	↓
	印刷	→	↓	→	↗	↗	↓	→	→	↓
	窯業・土石製品	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↓	→	→	↓	↓	→	↓	→	↓
非製造業	卸売業	→	→	↓	→	→	→	—	→	→
	小売業	→	→	→	→	↓	→	—	→	→
	商店街	↓	→	→	→	↓	↓	—	→	↓
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	→	—	→	→	↗	→	—	→	→
D・I		-32	-13	-1	-5	-27	-14	-18	-4	-32

↑ 増加・上昇・好転     
 → 不変     
 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

●前月比D・Iの動きをみると、9項目中9項目、すべての項目が下降している。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>